

2025年度

**明治大学
学習支援報告書**

CONTENTS

本書は、2025年度に本学が取り組んだ学習支援活動全般に関する実績報告書です。各学部の取り組みや、学習支援室の活動等について情報をまとめました。

明治大学の学習支援に対する取り組み

法学部	3
商学部	5
政治経済学部	8
文学部	10
理工学部	12
農学部	15
経営学部	17
情報コミュニケーション学部	19
国際日本学部	21
総合数理学部	23
和泉学習支援コーナー	25
中野学習支援コーナー	26
スポーツ特別入試入学者対象語学科目	27

資料編

明治大学学習支援推進委員会設置要綱	31
学習支援推進委員会名簿	34
各キャンパス別学習支援室時間割	35
各キャンパス別学習支援室利用状況	42

明治大学の 学習支援に対する 取り組み

法 学 部

【学習支援内容】

法学部が2025年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

1. 法学部学習サポート

法学部では、学部生の学修を支援するため、学習サポート制度を設けている。本制度では、SA、TA、助手が常駐し、授業内容の理解、学習方法、レポート作成、試験対策など、学修全般に関する相談に対応している。大学での学びに不安や戸惑いを感じる学生一人ひとりの状況に寄り添い、必要な助言や支援を行うことで、計画的な履修と円滑な学修の継続を後押しすることを目的としている。気軽な質問や短時間の相談も歓迎しており、学生が安心して学習に取り組むことのできる環境づくりを支えている。

和泉キャンパスは月曜日から木曜日、駿河台キャンパスは水曜日および金曜日に対面でのサポートを実施した。春学期までは駿河台キャンパスは金曜日のみの実施であったが、学生のニーズに応えるため、秋学期より水曜日を追加で実施することとした。なお、7月および1月の期末試験期間の繁忙期には、円滑な運営のため、事前予約制による学習サポートも実施した。

具体的な支援内容は以下の通りである。

- ・ 過去問題の閲覧

講義担当の先生からの許諾を得られた講義につき、前年度の試験の過去問題を保有している。SA、TA、助手が案内し、来室した学生が過去問題の閲覧をできるようにしている。

- ・ 勉強方法の相談

法学部の学修の特徴に配慮しながら、勉強方法に関する相談を受け付けている。大学に入学したばかりの学生の中には、これまでとは異なる学び方に戸惑ってしまい、自分の勉強方法に自信を持ってない場合もある。そのような不安に寄り添いながら、条文や判例の読み方、講義内容の整理の仕方や論述試験への取り組み方などについて、一人一人の状況に応じて、丁寧にアドバイスをを行い、基礎的な学修から学年に応じた学修まで、学びを深められるように支援している。

- ・ 試験対策の相談

試験対策に関する相談も受け付けている。具体的な相談内容としては、事例問題の答案の書き方についての質問や、試験の過去問題や授業内で提示された例題について学生が作成した答案の添削などが挙げられる。

- ・ レポート添削

学生が作成したレポートの添削も実施している。結論を示すことを目的とするのではなく、学生自身の考えを大切にしながら、構成の工夫や文章表現のポイントについて助言を行っている。また、参考となる判例の紹介等を通じて、学生がレポートを改善できるよう、サポートを実施している。

・その他

その他の相談内容として、ゼミ選びの相談、ゼミのエントリーシートの添削、進路相談（とりわけ、研究科あるいは法科大学院への進学に関する相談）などが挙げられる。

2. 成績不良者面談

5月から6月にかけて、前年度までの単位修得状況が一定条件に満たない学生および進級不可者を対象に、前年度履修科目担当教員等（進級不可者：法学部事務室員、2年生：法学部事務室員、3・4年生：専門演習指導教員等）による指導を実施した。

成績通知表、個人別時間割表、法学部独自の「大学生生活・学習状況振り返りシート」にもとづき面談を行い、担当教員からのアドバイスをもとに、学修に対する姿勢を再確認するためのきっかけとした。また、面談後は必要な学生に対して法学部学習サポートの説明を行い、利用を促した。

3. 授業サポートの実施

オムニバス授業は外部講師が担当する授業回が少なくないことから、円滑に授業が進むよう、TAが配布資料の準備、教卓PCのセッティング、出席票集計、各備品の片づけ等の授業サポートを行った。

以下、授業サポートを行った科目。

- | | | | |
|------|-----------|---------|--------|
| ・春学期 | 金曜4限（駿河台） | 「総合講座」 | 江島晶子先生 |
| ・秋学期 | 金曜4限（駿河台） | 「総合講座」 | 江島晶子先生 |
| ・秋学期 | 金曜3限（和泉） | 「現代法入門」 | 金子敏哉先生 |

【今後の課題】

2025年度の学習サポート利用者は855名で前年度より20名増加し、特に駿河台キャンパスは138名と27名増と大きく伸びた点が注目される。ただし、これらは延べ人数であり、実際に支援を必要とする学生数との乖離を把握するため、学籍番号や利用科目、利用回数などを基に実人数を算出し、データベース化して精緻な分析を行う必要がある。

また、繁忙期に利用が集中する傾向が続いているため、計画的な利用を促す工夫も求められる。現状の利用者は学習意欲が高く自力で答案作成が可能な学生が多く、本来支援が必要な層の利用が少ないという課題もある。留学生やスポーツ特別入試入学者が気軽に利用できるように、初歩的な質問を歓迎する広報などにより、学習のハードルを下げて対象層に確実に情報を届ける必要がある。

さらに、留学生やスポーツ特別入試入学者には法律用語の壁が学習意欲低下につながるため、日本語教育の視点も含めた専門用語支援を強化し、多様な背景を持つ学生が安心して学べる環境整備が重要である。加えて、身体障がいや精神的疾患など個別事情を抱える学生への継続的かつきめ細かな支援体制を構築するため、担当教員や支援部署との連携を深めることが今後の課題となる。

商 学 部

【学習支援内容】

商学部が2025年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

1. 概況

商学部では、執行部と関係教員との連携のもと、多角的な学習支援を行っている。商学部のような大規模学部では、ゼミナール選択（2年次）、コース選択（3年次）などのカリキュラムの節目において、学生がカリキュラムを十分に理解し、ミスマッチのない学習計画を立てられるように支援していくことが肝要である。その意味からも、「商学入門」の開講や、「商学部アワー」などにおける各種ガイダンスの開催に、学習支援の一環として重要な役割をあたえている。また、特別入試による入学者、および様々な障がいを抱えた学生などの学生生活への不適應への対応なども個別的に対応している。

2. 具体的取り組み

2025年度の主な取り組みは以下の通りである。

● 「基礎演習」「文章表現」の開講

いずれも1年次の必修科目として設置されている半期科目である。20名以下の少人数クラスを編成し、高校から大学における学びへのスムーズな移行ができるよう配慮している。2022年度以降は対面で実施している。

「文章表現」は大学生としてふさわしい文章力の修得と日本語運用能力の向上を目標としている。論文・レポート・答案など、文章を書くための基礎的な力を養うための講義と演習を行っている。2025年度の使用テキストは『実践 文章表現』（明治書院刊）である。本テキストはSNS時代の文章マナーなどを積極的に取り入れつつ、レポートの作成の際に役立つように構成されている。時代に適應した実践的な文章力の涵養に努めた。

「基礎演習」では文献・資料収集の技術、文献・資料を利用した研究成果の発表方法など、大学で自律的に学ぶ方法を体得できるよう指導している。また、大学教育への導入として、図書館利用法を周知徹底するようにしている。なお、1年に1回基礎演習担当者会議を開催し、授業方針、シラバス、評価方法等について授業担当教員間で継続的に検討を行っており、多数のクラスで開講される講義内容を統一するとともに、質の保証を図っている。

このほか、ゴールデンウィーク明けに無断欠席の続く学生については、「基礎演習」の担当教員から商学部事務室に学生情報の連絡を入れることになっており、これにより新入生の大学生活の不適應を早めに把握し、修学指導に役立てる体制を整えている。



● 推薦図書リスト『知の森へ』

2008年度より、商学部教員がそれぞれの専門分野や関心領域から推薦する一冊の図書を学生向けに冊子や Web サイトで紹介している。これは学生にとって学習の指針になるだけでなく、商学部教員の人物や研究領域を知るきっかけにもなっている。和泉キャンパス三省堂書店で特設コーナーを設けている。

● 商学部アワー

2009年度より、火曜日午後を「商学部アワー」と定め、多様なプログラムを提供している。

春学期と秋学期に、ゼミの入室試験に向けた講演会（6月3日、9月23日）を対面で実施した。秋学期には、ゼミ協の主催でゼミ入室に向けた情報提供の場として「ゼミナビ」（9月30日、10月7日）を対面で実施し、オンラインでは「演習室総合ガイダンス」、「演習室2次総合ガイダンス」の配信を行った。

また、3年次からのコース選択に寄与すべく、「コース・進級・進学ガイダンス」の配信を行った。

● 各種総合講座の開催

○ 「商学入門」「商学研究入門」

商学部では3年次より専門コース（7コース）に分かれるが、それぞれのコースで学ぶ内容を1・2年生に分かりやすく伝える授業として、2009年度よりオムニバス形式による「商学入門（2022年度以前は「総合講座（商学入門）」）」を開講している。コースおよび専門ゼミの選択に役立つ授業として、1年次での履修を推奨している。なお、2012年度から「商学研究入門（2022年度以前は「総合講座（商学研究入門）」）」を開設し、1・2年次からビジネス研究における最先端分野に触れる機会を提供している。

※商学研究入門は2025年度未開講

○ 「ビジネス・インサイト」

商学部では、2011年度より企業における具体的事例を題材として、学生が社会で求められる能力の向上を目標として「就業力養成講座」を開講していた。2017年度より「フューチャースキル講座」、2023年度から「ビジネス・インサイト」と改称し、開講している。本講座は、1年の春学期に企業から与えられた課題に取り組み、グループワークやフィールドワークを通じて、社会的な課題に挑戦する力を養成する講座であり、2025年度は、りそな銀行、京王電鉄、山崎製パンなどの企業との協力により、多数の学生が受講する人気講座となっている。在学中に卒業後の社会生活を意識することで、商学部での学びに動機づけが与えられる効果が期待されている。

● 修学指導

1年次の秋学期に、春学期の成績にもとづき、成績不良の学生を面談に呼び出し、専任教員が分担して修学指導を行っている。これにより成績不良学生に反省の機会を与えるだけでなく、場合によっては成績不良の背景にある家庭環境や心身の不調

など深刻な問題を早期に把握することが可能となっている。

● 障がい学生支援・心の病を抱えた学生への対応

障がい学生への支援については、大学内の関係部署と協力して進めてきた。2024年度には明治大学障がい学生支援基本方針が改定され、全学共通の「明治大学生のための障がい学生支援あんない」、「明治大学教職員のための障がい学生支援ガイドライン」が公開された。心の病を抱える学生へは、執行部教員、学級主任、授業担当教員、事務室（商学部事務室、教務事務室）が学生相談室と連携して対応している。

● 入学前教育プログラム

商学部では2025年度も、特別入試による入学者を対象に、動画視聴をふまえた小論文作成を課した。商学部入学後に求められる基本的な論理的思考力、文章力を確かめ、入学後の学習上の目標設定に役立ててもらうことを主眼としている。受講者の感想から、論理的な文章の組み立てに難しさを感じる学生も多いことが判明し、入学後の勉強開始を前に、能力向上の必要性を感じる機会を提供できていると推測している。

また、入学形態別に入学前の心構えについて動画配信し、より良い学生生活を送るための指導を行った。

【今後の課題】

学生の多様化の進展に伴い、学習支援についても、成績上位層・中間層・下位層それぞれを対象とした多角的な展開が求められている。商学部においては、「ビジネス・インサイト」等を通じて上位層のさらなる学習意欲の喚起を図るとともに、「商学部アワー」「商学入門」「商学研究入門」などを通じて中間層に学びの契機を提供している。また、「修学指導」によって下位層に対し大学生活を見直す機会を設けている。今後は、学生生活の多様化にも十分に配慮しつつ、これらの取り組みを一層発展させるとともに、支援の在り方についてさらに工夫を重ねていく必要がある。

また、レポート・論文における剽窃問題への対応については、1年次必修科目の「基礎演習」や「文章表現」など複数の機会を通じて、より一層の啓発活動を徹底していく必要がある。

さらに、障がいや心の不調を抱える学生への支援は重要な課題であるが、学部単独での対応には限界がある。全学的な支援体制の充実が進められていることを踏まえ、商学部としても今後ともこれに連携し、引き続き協力していく。

加えて、留学支援については、学生の関心や進路意識の多様化を背景に、その重要性が一層高まっている。今後は、派遣留学・受入留学の双方において機会の拡充を図るとともに、単位認定の柔軟な運用や外国語で実施される専門科目の充実等を通じて、より実効性の高い支援体制の構築を進めていく必要がある。

政治経済学部

【学習支援内容】

政治経済学部が2025年度に行った支援活動は以下のとおりである。

1. アカデミック・アドバイザー制度

本学部では毎年度、入学式後に約2日間を目安として、和泉キャンパスに学習相談コーナーを設置し、アカデミック・アドバイザーによる個別相談を行っている。これは主に新入生を対象に、学部長をはじめとした役職者の教員や若手の教員がアカデミック・アドバイザーとして、訪れた学生の進路や希望職種、学習意欲に基づき、在学中の学習や履修計画についてアドバイスを行うとともに、学習指導週間に実施された各種ガイダンスで生じた疑問や質問等に答えるものである。

2024年度から、開催日を新入生クラスガイダンス日を含めた2日間に設定したところ、2024年度は163件の相談だったが、2025年度は2日間で、206件と相談件数が大幅に増え、新入生の履修サポートに繋がられた。

2. スポーツ特別入学者対象ガイダンス実施

本学部は本学のスポーツ特別入学者数の約4分の1となる70名の学生を受け入れており、その割合は学部の入学定員（1120名）の6.3%を占めるため、一般入学者との学力差是正とともに、勉学への意欲維持や目的意識を高めることが必要となる。

入学前教育として、eラーニングを活用した「大学入門講座」を提供するとともに、4月の授業開始前に、当学部スポーツ委員会委員及び事務室によるスポーツ特別入学者向けガイダンスを学年ごとに実施した。ガイダンスでは1・2年生に対し、全学生向けのものとは別にスポーツ特別入学者向けの語学科目等の履修説明と学習計画に関する個別指導を、3・4年生に対し、成績不良者を対象とした学習計画に関する個別指導を行った。

また、学生がスポーツに専念しながらも1・2年次から適切な学習計画を立て、習慣的に学習する力を身につけることを目的に「アスリート学業支援プログラム」を設定し、修学指導を行っている。

3. 修学指導の実施

修得単位数等において一定の基準を満たさなかった学生を対象に、文書注意、学生と教員（学級主任もしくは専門演習担当教員）との二者面談、父母も同席する三者面談を実施した。また、面談実施日を履修登録期間に合わせることで、学習面で速やかにリカバリーできるような仕組みで運用している。

これにより、成績不良者に反省機会を提供するとともに、学業意欲喪失者に進路を見つめ直す機会を提供した。

4. 障がい学生支援

近年、心身の障がいのある学生が増えてきている。学生本人、学部役職者及び事務室との面談を通じて、学生一人ひとりの障がいの状況やニーズを踏まえ、障がい学生支援室とも連携しつつ、科目担当教員に配慮への協力を依頼することで修学上の支援を行った。

5. 政治経済学部国際交流学生委員会「The Supporters」による支援

政治経済学部では、学部の国際交流事業をさらに充実させ、学生主体の国際交流活動を促進させることを目的として、留学生のサポートや学部が実施する各種国際交流イベントの企画運営等を行う国際交流学生委員会「The Supporters」を2021年度に立ち上げた。私費留学生及び長期交換留学生を対象とした滞在中のサポート、短期受入れプログラム参加留学生を対象とした交流会の企画・運営・合宿サポートなどを行った。2024年度からは、タマサート大学とのダブルディグリープログラムで受け入れている学生とのピア・サポートも生まれ、交流機会も増えている

6. 政治経済学部ブックガイド

政治経済学部の教員が新入生に薦める各分野の入門書（政治学・経済学・社会学・国際文化・各種教養文化など）について紹介する冊子を2025年度も刊行した。新入生に配付し、学部での学びのきっかけとすることで、政治経済学部で「知の世界」に向かって踏み出す学生の一つの道標として編集されている。

【今後の課題】

入学形態だけではなく、心身に障がいを抱えた学生、外国籍の学生等、支援の対象となる学生は多様化している。全学的な支援体制の確立に協力するとともに、修学指導や国際交流学生委員会による支援等、学部独自の取り組みを通じて、きめ細やかな支援体制を構築したい。

また、アカデミックアドバイザーの新入生相談件数の増加は、2024年度以降の活動を通じて、新たに顕在化した課題である。きめ細やかな支援が必要な一方で、教職員が対応できるマンパワーにも上限があるため、今後は、支援体制の仕組化も検討をしたい。

文 学 部

【学習支援内容】

文学部が2025年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

1. 入学前教育課題の実施

特別入学試験入学（指定校推薦・社会人・自己推薦・付属校）を対象に、課題図書についての感想文提出を課題として与え、文章力や論理的思考力の確認を図った。また、英語の長文読解と英作文を主な内容とした英語課題を課した。

提出された英語課題については、委託業者によって添削される。解答・解説を添付して本人に返却するといった方法を実施したことにより、入学にあたってどの程度の英語力を備えているか、本人が現時点での英語の実力を確認できるだけでなく、この結果をもとに、各専攻内における新入生の英語の学力を事前に把握し、個々の学習指導に役立てることが可能となった。

2. 履修相談会の開催

4月8日から11日まで、文学部専任助手およびTAによる「履修相談会」を和泉キャンパスにおいて実施した。ここでは、履修方法や時間割の組み方、授業内容に関する疑問について個別相談を実施し、スムーズな学期開始となるようサポートした。

3. 学習支援業務

前項2で履修相談を担当した助手およびTAが、学期を通して学習支援業務や授業補助業務も行った。和泉学習支援コーナーで学習支援業務を行った文学部助手は春学期・秋学期各3名、1週間に総時間18時間勤務した。

上記とは別に各専攻別での学習支援を和泉・駿河台キャンパスの教室で助手およびTAがおこなった。春学期には、合計2名が1週間に総時間113時間勤務し、秋学期は合計23名が1週間に総時間1時間勤務した。専攻によっては、対面だけでなくオンラインでの相談受付も実施した。

業務内容は、レポート作成指導、文献講読補助、語学学習指導、大学院進学相談などである。

4. 障がい学生支援

2025年度も文学部に在籍している学生一人ひとりの障がいに応じて、担当教員や障がい学生支援室とも連携しつつ、支援を行った。

5. 個別の対応が必要な学生への支援について

何らかの理由で成績不振に陥っている学生に対しては、教員による個別面談を行っており、状況把握や今後の学習指導につなげている。また、従来から行っているが、事務室の窓口等で履修・修学状況を把握した学生に対して個別に相談を受け、きめ細かく対応した。教員と職員の両方で対応することにより、当該学生が集中して勉学に取り組めない原因を早期に特定し、必要に応じて専攻や学科、学部レベルで適宜協議のうえ、改善策を実施した。

【今後の課題】

学生の学習意欲の把握や、学習意欲を高めるための対処や支援を学生とともに進められれば、個々の単位修得状況を向上させることができるのではないかと期待される。

学習支援室の効果的な運用のあり方や、学習意欲に関する意見交換の場の設定などについての検討を継続することによって、学生の単位修得の進捗が留まることなくないように努めていきたい。

理 工 学 部

【学習支援内容】

理工学部が2025年度に実施した学習支援は、以下のとおりである。

理工学部では、ラーニングサポートスペースの運営については本学部の執行部、各学科および総合文化教室から選出された教員で組織する教学委員会が、入学前教育については本学部の執行部と入試委員会がそれぞれ責任主体となり、理工学部学生に対する学習支援活動に取り組んでいる。

1. ラーニングサポートスペース（理工学部）

生田キャンパスでは、センターフォレスト内のラーニングサポートスペースにおいて、農学部と共同で運営する形で学習支援を行っている。ラーニングサポートスペース（理工学部）では、理工学研究科各専攻に所属する大学院生のTAを主体として、学部学生に対してきめ細かな学習支援活動を実施している。TAの所属専攻・専門性に応じて担当科目を決定し時間割を作成するほか、昼休みの時間帯に多くのTAを配置するなど、利用しやすい環境の整備に努めている。

また、定期試験が行われる7月および1月は利用者が増加するため、応援勤務体制による指導TAの増員を行い、混雑の緩和および相談者への指導の充実を図っている。

ラーニングサポートスペースでの質問事項や利用状況等は、専従の嘱託職員が取りまとめデータ化している。このデータは毎週教学委員へ報告され、各委員が担当学科の支援活動状況を確認し、継続的な改善に努めている。

※時間割および利用者数については「資料編」を参照。

2025年度は、通常期間中は原則として対面指導を行い、定期試験前等の利用者が増加する期間については、Zoomやメールによるオンライン指導と対面指導を併用した。2024年度以前は第二校舎D館に設置していた「学習支援室」において学習支援を実施していたが、センターフォレストへの移転および農学部との共同運営開始後も、理工学部学生の利用回数等は概ね同様であった。

2. 入学前教育の実施

理工学部では、特別入試で合格した入学予定者を対象に、「数学」および「英語」の入学前教育を実施している。

数学については、2025年度（2026年度入学予定者対象）において、11月に学部ウェブサイト上に「入学前教育プログラム」として課題となる数学問題を掲載し、対象学生に対して当該問題に取り組むよう指示した。課題の作成は付属明治高校の元数学教諭が担当し、出題範囲は高校数学を広く網羅した基礎的内容であるが、特に微分・積分に重点を置いている。対象者は、スポーツ特別入試、自己推薦特別入試、外国人留学生入試、付属高校および指定校からの推薦入試による入学

予定者全員である。

課題の解答は学部ウェブサイトに掲載し、対象者各自が自己採点を行い、採点済みの答案を学部事務室へ郵送するよう指示した。

本入学前教育の結果は入学後の学習指導にも活用しており、提出された解答内容から学力が不十分と判断される学生については、入学後の学習に支障を来す可能性を踏まえ、理系基礎科目「基礎線形代数1」および「基礎微分積分1」のベーシックコースの受講を推奨している。

2025年度の課題対象者は394名であり、うち389名が答案を提出した。提出答案の内容に基づき、基礎線形代数では56名に、基礎微分積分では130名にベーシックコースの受講を推奨し、実際にそれぞれ36名、49名が受講している。

英語については、提出を要する課題は設定しなかったが、入学手続書類の中で学習のための参考図書を提示した。また、入学後に実施される英語授業の水準に関する情報を提供することで、入学前の学習準備を促した。

さらに、スポーツ特別入試入学予定者に対しては、これらの入学前教育に加え、eラーニングを活用した「TOEIC対策講座」の受講を強く推奨している。

3. 大学教養基礎講座について

入試形態の多様化に伴い、新入生の高等学校段階における履修科目のばらつきや基礎学力の個人差が顕在化している。このため、東進ハイスクールが提供する大学教養基礎講座を入学前教育として導入している。本講座では、数学Ⅲの内容のうち、理工学部において重要となる単元を対象としている。

対象者は、スポーツ特別入試、自己推薦特別入試、外国人留学生入試、付属高校および指定校推薦入試による入学予定者全員であり、受講は原則任意とする一方で、スポーツ特別入試入学予定者については必須としている。

4. 障がい学生等の支援

理工学部には、2025年度（秋学期終了時点）において、心身の障がいや不調等により配慮を必要とする学生が24名在籍している。これらの学生一人ひとりの状況に応じて、担当教員および障がい学生支援室と連携しながら支援を行った。

また、教授会や教員主体の教科勉強会、FD活動等において、「明治大学教職員のための障がい学生支援ガイドライン」に基づく啓発活動を実施した。

5. その他のガイダンス等

理工学部における学習支援活動の一環として、毎年4月上旬に新入生を対象とした履修相談会を実施し、各学科の教員が授業内容、履修登録、時間割作成、進級・卒業要件等に関する相談に対応している。

また、毎年春学期の学習指導期間には、スポーツ特別入試および外国人留学生入試による入学者を対象として、学科ごとにガイダンスを実施し修学指導を行っている。さらに、春・秋学期の授業開始前には、前年度または前学期の成績において単位修得状況が不良な学生を対象としたガイダンスを、全学年を対象に実施している。

【今後の課題】

入学後、通常講義の理解が不十分な学生に対しては、ベーシッククラスの設置や学習支援室での指導等により支援を行っている。しかしながら、これらの支援について、特に支援が必要な学生が確実に利用しているかどうかについては、十分に把握できていない可能性がある。

また、近年増加傾向にある、障がいや精神的健康状態への配慮を希望する学生に対しては、引き続き「明治大学教職員のための障がい学生支援ガイドライン」に基づいた適切な対応が求められる。障がい学生支援室および学生相談室との連携強化に加え、対応にあたる教職員の負担軽減を目的とした支援体制の見直しについても検討が必要である。

農 学 部

【学習支援内容】

農学部が2025年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

農学部では教務主任1名、委員5名、事務局2名から構成される「農学部学習支援委員会」（委員長は教務主任）のもと、農学部の学生に対して多様な学習支援活動に取り組んでいる。以下に記載の1～3は本学部で行っている主要な学習支援制度である。

1. 農学部学習支援室の運営

農学部学習支援室は、自習エリア・学習支援エリアに分かれ、様々な用途で利用できる。学習支援エリアでは、農学部TAが学習相談や補習指導を行っている。

※運用スケジュール及び利用者数については「資料編」を参照。

2. 入学前準備講座の実施

入試形態の多様化等により、新入生の科目習熟度や高校での履修分野に個人差が目立つようになったことから、2004年度より高校基礎レベルを短期集中で学び、学部の講義に円滑に移行することを目的としてフォローアップ講座を実施していた。

2023年度（2024年度入学者対象）からは、東進ハイスクールが提供する大学教養基礎講座を入学前準備講座として取り入れた。本講座では農学部において重要な内容を含む単元を、学科ごとに設定している。

大学教養基礎講座の対象者は特別入試入学予定者（スポーツ特別入試、自己推薦特別入試、地域農業振興特別入試、指定校推薦入試）であり、受講は原則任意であるが、スポーツ特別入試入学予定者に対しては受講必須とした。

3. 入学前課題の実施

農学部では2002年度より、特別入試入学者と一般入試入学者との学力差是正や入学までの勉強意欲の維持、学科や学問、目的意識に対する理解を高めることなどを目的として、入学前課題を実施している。

2025年度は2025年12月～2026年3月にかけて以下の入学前課題を実施した。

学科	入学形態	課題①	課題②
農学科	自己推薦特別入試	学習日誌・ノート提出	
	指定校推薦入試		
農芸化学科	自己推薦特別入試	ノート提出 (指定教科書あり)	レポート提出 (課題図書あり)
	指定校推薦入試		
生命科学科	スポーツ特別入試	ノート提出 (課題図書あり)	
	自己推薦特別入試		

食料環境政策学科	スポーツ特別入試	課題図書レポート	
	自己推薦特別入試		
	地域農業振興特別入試		
	指定校推薦入試		

課題については各学科で毎年内容を検討している。学生から大学まで郵送またはメールにて提出させ、提出後は各学科で提出状況や内容を確認の上、必要に応じて指導を行った。

【今後の課題】

スポーツ特別入試をはじめ、総合型選抜で入学する学生については、入学前準備講座や入学前課題でサポートを行っている他、学習支援T A・S A制度でもサポートをしている。しかし、高校までの学習内容によっては学科における授業についていけなくなってしまう学生も一定数いる。

また、近年増加傾向にある障がい学生支援学生への対応についても、引き続き、学生相談室や障がい学生支援室とも連携しながら進めていく必要がある。

経営学部

【学習支援内容】

経営学部の学習支援体制は、(1) 入学前教育、(2) 学期開始時、(3) 学期中、(4) 学期終了時と学生生活を一体的にとらえ、半期単位での計画・実行・確認のサイクルを重視した学習支援体制を整えている。

1. 入学前教育

指定校推薦入試、付属校推薦入試の合格者には、国語の課題として外部委託業者による添削指導を実施し、ほぼ全員が受講した。英語に関する課題は、入学後スムーズに授業に取り組めるよう、TOEIC®試験等、英語検定試験の受験を推奨している。

スポーツ特別入試の合格者には、「大学入門講座」の受講（英語・国語）を課し、さらには、英語検定試験の受験も推奨している。

2. 学期開始時

(1) 各種ガイダンスの開催

入学時、新年度に各種ガイダンスを開催している。1年生にはカリキュラムや履修方法に関するガイダンスを実施している。3、4年生には卒業に向けての指針となる履修指導を行っている。また、学部カリキュラムの特徴である3つのトラック「GREAT」・「CAP」・「DIGIT」、実践型・実習型科目の「フィールドスタディ」・「経営総合講義」、学部独自の短期海外留学・体験プログラム（「IBP」、「ISIBM」、「グローバル・サービスマーケティング」）、長期の海外留学（学部間協定留学、認定留学、デュアルディグリー・プログラム）については個別にガイダンスを実施している。

(2) スポーツ特別入学者ガイダンスの開催

全学年のスポーツ特別入学者を対象に「スポーツ入学者ガイダンス」を開催し、1年生および成績不良者に対して履修指導を行っている。

また、成績不良者が所属している部に対しては、「体育会監督との成績相談会」を開催し、学部の教員が、部の責任者に対し、履修・成績、部活動の様子に関して情報を共有し、協力して対応している。

(3) 履修相談

年度始めの学習指導期間において、経営学部助手、ティーチング・アシスタントが時間割の組み方等、学生の希望する学習・進路に合った履修計画策定を指導している。

3. 学期中

経営学部には、2025年度11名のティーチング・アシスタントがおり、授業補助や学習支援室での指導に当たっている。学習支援室における指導では、主に学習進度の遅れた学生に対して、経営学部必修科目などの個別指導を行った。

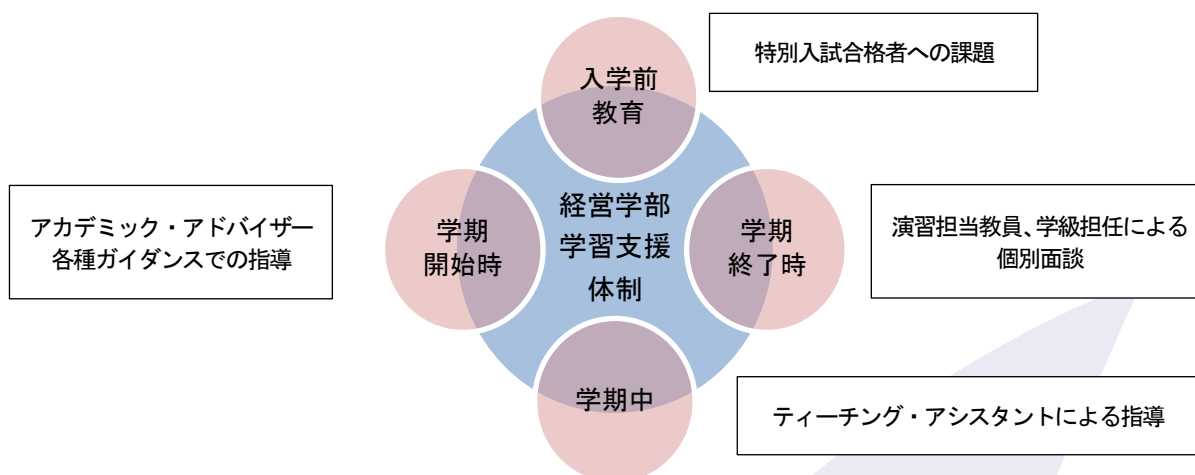
4. 学期終了時

学期ごとの成績基準を定め、その基準に達していない者を対象として、本人と保証人宛に成績通知表と注意喚起文を送付し、演習担当教員またはクラス担任による修学指導（個別面談）を行っている。修学指導は年2回実施し、その結果は学部執行部と教育課程委員会に報告され、検討を行っている。

【今後の課題】

学習支援室におけるティーチング・アシスタントによる支援体制について、支援が必要な学生が活用しやすい場とするべく、どのような相談ができるのかを具体的に例示する等、周知方法の工夫と徹底が必要である。

各制度の連携を重視し、学生が主体的に学習する環境の整備を目指す。



情報コミュニケーション学部

【学習支援内容】

情報コミュニケーション学部が2025年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

1. 入学前教育課題の実施

スポーツ特別入試入学者に対して、「情報コミュニケーション学への招待」を課題図書として配付し、レジュメの作成を課題とした。

2. 入学前におけるカリキュラム等説明動画の配信

入学予定者に対して、入学前の3月にカリキュラム説明および履修登録方法等の説明動画を学部HPに掲載することにより、新入生が入学前の早い段階で履修登録に対する意識づけおよび準備ができるような体制とした。

3. 新入生交流会の実施

4月の授業期間前に新入生交流会を開催している。カリキュラムや履修方法、留学等に関するガイダンスや、履修相談を行うことにより、新入生の不安を解消している。

4. 問題分析ゼミナール入室試験のためのガイダンスやイベント実施

本学部で重視しているゼミナール教育を円滑に進めるため、毎年10月に2年生を対象とし、ガイダンスとして問題分析ゼミナールの趣旨、選抜方法等の説明動画や、担当教員が演習内容を詳細に説明した教員個別ガイダンス動画を公開している。さらに、オープンゼミとして実際のゼミナール実施時間に見学できる機会を提供し、各ゼミナールへの理解を深める時間として参加を促している。

また、問題分析ゼミナール・解決ゼミナールに所属する3・4年生の研究内容を発表するイベント「研究交流祭」を2年生に見学・参加できるよう促すことで、入室ゼミナールの選択に役立つ機会を提供している。

5. 成績不良者に対するクラス担任等による面談・指導

「情報コミュニケーション学部修学指導内規」に基づき、成績基準に達していない者を対象として、本人及び保証人宛に成績通知表及び注意喚起文を送付している。また、希望者には、クラス担任等による個別面談を各学期の履修登録期間前に実施し、学習計画書の提出を義務付けることで、成績不良者のサポートを行っている。

【今後の課題】

現行の支援体制については継続して行い、障がい学生の支援及び入試形態の多様化に伴う必要な支援体制等についても積極的に取り組んでいきたい。

主に新入生に対しては、本学部での多様性に富んだカリキュラムを十分に活かしてもらおうべく、初年次教育の充実を図りたい。

国際日本学部

【学習支援内容】

国際日本学部が2025度の実施した学習支援は以下のとおりである。

本学部では学生に対し、多様な学習支援活動を行っている。主な支援制度は次の1から7である。

1. 海外指定校入試入学者に対する入学前教育

中国にある指定校高校から入学する予定の留学生に対し、入学後に必要とされる語学力の向上、入学までの学習意欲の維持、学科や学問に関する理解・目的意識を高める事を目的に、入学前教育を実施している。

合格発表後から入学までの約半年間、日本語と英語についてそれぞれ課題を課した。日本語については、課題文に従って意見文を800字程度で作成する課題や、講義録画を視聴し講義内容についてまとめる及び意見や感想を書く課題を課す。

なお、2025年度は該当の入学者がいなかったため、実施しなかったが、次年度以降も、入学者がいる場合は引き続き実施する。

2. スポーツ特別入試入学者に対する入学前教育と入学後のフォローアップ

スポーツ特別入試による入学者に対し、一般入試による入学者との間の学力差をなくすとともに、入学までの学習意欲を維持し、本学部や学問に関する理解や目的意識を高めるために、入学前教育を実施している。12月に合格通知発送とほぼ同時に、入学への準備として『はじめての TOEIC® L&R テスト 全パート総合対策』（塚田幸光、アスク）を送付し、勉強に取り組むよう指示したのち2月から3月にかけて学習成果確認のためのテストを実施した。さらに、岩波新書の任意の本について、国際日本学部標準フォーマットに沿った形でレポートを1000字程度で書くという課題を課した。

3. 初年次教育ガイダンス

新入生を対象としたクラス別ガイダンスにおいて、共通の教材を使用した初年次教育を実施している。内容は、大学の授業の種類、講義形式の授業の受け方、効果的な学習方法、シラバスの活用方法、課題解決のための情報収集の仕方、レポートの書き方など、大学生として知っておくべき内容を網羅している。特に、剽窃については、「レポートの書き方」を説明した後に、剽窃に関する理解を確かめる小テストを実施、防止教育に力を注いでいる。

4. オフィスアワーの設置

専任・特任教員がオフィスアワーを設けており、定期的に学生からの質問や相談を受けられる体制をとっている。また、英語教育を担当しているネイティブスピー

カーの特任教員による「English Conversation Hours」が運営されており、英語のスピーキング・リスニングの力の向上を目指せる仕組みを設けている。

5. 国際日本学部学生交流委員会による留学生向けの支援

留学生の新入生で希望する者を対象に、学部公認の国際日本学部国際交流学生委員会の日本人学生がサポーターとなる体制をとっている（各学期の初めに決定）。留学生は、授業内容に関することや、履修・時間割の組み方などを個別に相談・確認できる他、日本での生活に係るサポートを受けることができる。2025年度はサポートガイダンスや交流イベントなどを開催した。

6. 成績不良者に対する学期開始時の当該クラス担任等による面談・指導

本学部修学指導内規に基づき、学業不振による休学・退学を未然に回避できるよう、成績不良者に対し、学期の開始時、当該クラス担任等による面談・指導を行っている。

7. 障がい学生の支援

障がいのある学生に対して一人一人の状況に応じた支援を実施している。面談を通じて支援の内容を決定し、授業担当教員に配慮の依頼を行った。

【今後の課題】

以上の修学支援は今後も継続し、さらなる充実を図る。また上記以外の対応が必要になる事態が発生した場合には、ケースが発生し次第、他学部での例を参考にし、対応していく。また、近年増加傾向にある障がい学生への対応については、引き続き障がい学生支援室などと連携しつつ、学生と教職員双方にとって適切な支援となるよう努めていきたい。

総合数理学部

【学習支援内容】

総合数理学部では、学習支援及び修学指導について、以下の学部内委員会で検討を行い、総合数理学部学生に対する学習支援活動に取り組んでいる。

- 学習支援：教学委員会
- 修学指導：学生支援委員会
- 入学前教育：入試委員会

1. 学習支援

学部教育の基盤となる「数学関係科目」、「情報関係科目」及び「理科関係科目（物理）」について、学習支援を実施した。学習支援は、先端数理科学研究科に在籍する大学院生TAが担当し、1階ラーニング・ラウンジ内の学習支援コーナーにおいて、対面により支援を行った。

2025年度の学習支援利用者は、1年間でのべ59名であり、2024年度と比較して利用者数は約4割減少した。一方で、学習支援については継続的な周知を行っており、必要に応じて学生が利用できる体制を維持している。利用者数の減少については、学生の学習状況や支援ニーズの変化等、複数の要因が考えられるため、今後も利用状況を注視しながら、2026年度においても引き続き学習支援の周知と支援体制の充実を図っていく。

2. 修学指導

年に2回（9月と3月）、学生支援委員会で審議・承認した修学指導基準に該当する学生について、学科教員が個人面談による指導を行っている。個人面談による指導は、学業不振による休学・退学を未然に防ぎ、また、学生自らが行動等を振り返ることにより学業不振の原因を探る機会となり、次学期への学生の学習意欲を高める効果を上げている。

3. 入学前教育課題の実施

自己推薦特別入試、指定校推薦入試、スポーツ特別入試及び外国人留学生入試入学者に対し、学習意欲の維持及び目的意識の明確化を図ることを狙いとして、数学及び英語の課題を教育専門業者に委託し、2回の通信添削を実施した。受講した学生から、「大学で必要になる部分を復習できて良かった」「数学・英語共に、入学前の期間を有効に使うことができ、知識を深めることができた」「添削された答案が返ってくるのがとても有難かった」等好意的な感想が寄せられた。また、ほぼ全員が課題を提出していることから、入学に向けた学習意欲の維持向上に一定の成果を上げていると思われる。

なお、受講した学生には、入学前教育課題内容の復習・定着を目的とし、入学後のガイダンス期間に数学のプレースメントテストを実施した。

【今後の課題】

学習支援について、実施場所・時間などを、利用者に向けてわかりやく周知すると共に、利用者や支援を実施したTAの意見や要望等を受け、より学生が支援を受け易い環境や体制について引き続き検討し、利用者の増加につなげていきたい。また、障がい学生支援についての申請が増加傾向にあり、学習支援を必要とするケースもあるため、学部内での検討と共に、全学的な体制の強化も、引き続き、検討が必要である。

修学指導について、「落ちこぼれを未然に防ぐ」という一定の役割は果たしていると考えられるが、これまで実施してきた修学指導方法や効果について、検証を行い、検討していく必要がある。

入学前教育課題の実施について、採点結果が低い学生に対してのフォローアップ等、有効な指導等について検討していく必要がある。

課題や問題点は各委員会を中心に検討を行い、学生にとってより良い支援ができるよう、継続的に改善を図っていく。

和泉学習支援コーナー

【学習支援内容】

- ・履修相談
- ・各学部設置科目の指導
- ・語学学習、各種検定試験指導
- ・レポート作成指導
- ・プレゼンの構成、発表についての指導
- ・ゼミ試験 ES の添削
- ・留学相談
- ・大学院進学相談

【その他活動内容】

和泉図書館 1 階サーチアシストにおいて、レポートやプレゼン作成指導、文献の検索及び引用についての指導等を実施した。

事務補助として、「杉並区シルバー人材センター」のスタッフが受付で勤務しており、学習支援室の温かい雰囲気創りに大きく貢献している。

【利用状況および今後の課題】

2022 年度より法学部学習サポートの誘致を行い、利用者数は増加傾向にある。

また、2012 年度から和泉図書館と連携し、図書館 1 階のサーチアシストに相談員を派遣している。図書館で自習をする学生の獲得という観点から、一定の効果を上げている。引き続き関連部署と連携し、周知活動の強化に取り組んでいきたい。

中野学習支援コーナー

中野キャンパスでは、国際日本学部および総合数理学部の学習支援方針に基づき、次のとおり学習支援を実施した。

【学習支援内容】

学習支援コーナーでは、国際日本学部 TA 及び総合数理学部 TA（以下「学部 TA」とする）による学習相談・支援、教務部 TA による語学学習支援を行った。

（資料編「2025 年度学習支援コーナー時間割」参照）

学部・研究科	学習相談・支援内容
国際日本	レポート・論文添削、留学生向け日本語
国際日本学研究科	院生向け論文添削
総合数理	数学、物理、情報科目
共 通	英会話、外国語学習法、日本語

【利用状況の変化】

2018 年度から 2025 年度にかけての相談対応件数の推移は、下表のとおりである。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
学部 TA 学習相談対応件数	142	300	130	128	83	183	201	88
教務部 TA 学習相談対応件数	34	100	4	5	81	62	137	28

中野キャンパス独自の取り組みである Conversation Practice Matching (CPM) *¹の対面対応を継続して実施している。留学生と語学学習に興味を持つ学生との交流を促す取り組みであるが、国際日本学部の学生を中心に人気のプログラムとなっている。

* 1 英語等を話したい日本人学生と日本語を話したい留学生をマッチングし、グループを作る取り組み。

スポーツ特別入試入学者対象語学科目

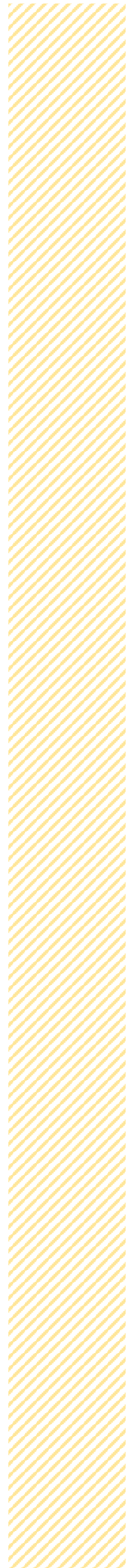
体育会所属学生の中でも基礎学力不足が認められるスポーツ特別入試入学者に対し、設置学部間であれば所属学部・キャンパスを超えて語学の授業を履修できる環境を整えるため、2006年4月からスポーツ特別入試入学者対象語学が設置された。当初、参加学部は5学部であったが、現在は9学部となっている。

今後も、横断授業のあり方を踏まえて、適正な科目及びコマ数を設置し、学生にとってより良い支援体制にしていける。

語種	対象 学年	開講 キャンパス	設置 学部	開講期		曜日	時限	担当者
英語	1年	和泉	法	春	秋	木	5	安田 努
		和泉	文	春	秋	火	3	関 修
		和泉	文	春	秋	木	1	西浦 徹
		生田	理工	春	秋	火	3	倉石 信乃
		和泉	経営	春	秋	水	2	奥井 裕
		和泉	情コミ	春	秋	火	2	高坂 映子
	1・2年	和泉	商	春	秋	水	2	石黒 太郎
		和泉	商	春	秋	金	2	瀧口 美香
		和泉	政経	春	秋	月	2	井上 和哉
		和泉	政経	春	秋	金	2	若月 麻美
		和泉	政経	春	秋	水	4	永江 敦
		和泉	政経	春	秋	金	5	井上 和哉
		中野	国日	春	秋	金	3	依田 里花
		中野	国日	春	秋	木	1	大槻 友紀
	2年	和泉	法	春	秋	水	4	関 修
		和泉	文	春	秋	火	2	秋山 義典
		和泉	文	春	秋	木	2	西浦 徹
		生田	理工	春	秋	月	3	倉石 信乃
		和泉	経営	春	秋	金	2	松野 亜希子
ドイツ語	1年	和泉	政経	春	秋	火	2	石原 竹彦
		和泉	文	春	秋	金	3	岡本 和子
		生田	理工	春	秋	月	3	松澤 智子
		和泉	経営	春	秋	金	1	松島 涉
	2年	和泉	法	春	秋	木	4	宗宮 朋子
		和泉	商	春	秋	木	3	渡辺 幸子
		生田	理工	春	秋	水	3	松澤 淳
		和泉	経営	春	秋	金	2	松島 涉

フランス語	1年	生田	理工	春	秋	月	3	小谷 奈津子
		和泉	経営	春	秋	火	3	中村 美緒
	2年	和泉	文	春	秋	金	3	西村 美穂
		生田	理工	春	秋	月	3	西村 美穂
中国語	1年	和泉	法	春	秋	火	1	魯 大鳴
		和泉	法	春	秋	火	5	呉 敏
		和泉	商	春	秋	月	2	江田 いづみ
		和泉	商	春	秋	月	3	江田 いづみ
		和泉	政経	春	秋	火	2	近藤 光雄
		生田	農	春	秋	金	3	陳 英招
		和泉	経営	春	秋	月	4	渡辺 済民
	2年	和泉	法	春	秋	月	4	石田 友美
		和泉	法	春	秋	火	5	陳 淑梅
		和泉	商	春	秋	木	1	三田 剛史
		和泉	商	春	秋	月	3	江田 憲治
		和泉	政経	春	秋	火	1	近藤 光雄
		生田	理工	春	秋	水	1	清水 則夫
		和泉	経営	春	秋	月	5	渡辺 済民

資料編



明治大学学習支援推進委員会設置要綱

2005年7月19日制定

2005年度例規第7号

(目的及び設置)

第1条 明治大学（以下「本大学」という。）の各学部における教育理念の実現と教育目標の達成のため、本大学の学生に対し、個々人に合わせた多様な学習支援を実施し、これを全学的に推進することを目的として、教務部委員会の下に、明治大学学習支援推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 学生の学習意欲を喚起させる啓発活動に関する事項
- (2) 各学部が実施する基本科目の学習指導に関する事項
- (3) 学生の基礎学力を向上させるための補習授業に関する事項
- (4) スポーツ技能重視入学者等に対する基礎科目の全学的授業の実施に関する事項
- (5) 学業優秀者の学習意欲を更に向上させるための学習指導に関する事項
- (6) 学習支援室の運営に関する事項
- (7) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務部長
- (2) 副教務部長
- (3) 各学部長が推薦する教務主任各1名
- (4) 大学院長が推薦する大学院教務主任1名
- (5) 専門職大学院長が推薦する専門職大学院教務主任1名
- (6) 教務事務部教務事務長及び和泉教務事務長、学生支援部スポーツ振興事務長並びに中野キャンパス事務部中野教務事務長

(任期)

第4条 委員の任期は、職務上委員となる者を除き、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第3号から第5号までの委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長各1名を置く。

- 2 委員長は、第3条第1号の委員をもってこれに充てる。
- 3 副委員長は、委員のうちから、委員会の同意を得て、委員長が指名する。
- 4 委員長は、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところ

による。

- 4 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(分科会)

第7条 委員会は、必要に応じて分科会を置くことができる。

- 2 分科会委員は、委員会委員のうちから、委員長が指名する。
- 3 前項のほか、委員長は、必要に応じて教職員のうちから、分科会委員を委嘱することができる。
- 4 分科会には、座長を置き、委員会委員のうちから、委員長が指名する。
- 5 分科会に関し必要な事項は、委員長が委員会の同意を得て、これを定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務事務部教務事務室が行い、必要に応じて関係部署がこれに協力するものとする。

(雑則)

第9条 この要綱に定めのない事項は、委員長が委員会の同意を得て、これを定めることができる。

附 則 (2005年度例規第7号)

(施行期日)

- 1 この要綱は、2005年(平成17年)7月20日から施行する。
- 2 この要綱の施行後、最初に任命される第3条第2号から第5号までの委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、2006年(平成18年)3月31日までとする。

(通達第1391号)

附 則 (2007年度例規第27号)

この要綱は、2007年(平成19年)12月19日から施行する。

(通達第1626号)(注 事務機構改革の実施による委員の事務管理職名及び事務部署名の変更に伴う改正)

附 則 (2007年度例規第33号)

この要綱は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。

(通達第1640号)(注 国際日本学部設置による委員構成の変更に伴う改正)

附 則 (2008年度例規第8号)

この要綱は、2008年(平成20年)6月4日から施行し、改正後の規定は、同年4月1日から適用する。

(通達第1697号)(注 二部教務部長の廃止による委員構成等の変更に伴う改正)

附 則 (2008年度例規第24号)

この要綱は、2008年(平成20年)12月3日から施行し、改正後の規定は、同年9月16日から適用する。

(通達第1756号)(注 事務機構第一次見直しによる部署名称等の変更に伴う改正)

附 則 (2009年度例規第9号)

この要綱は、2009年(平成21年)6月10日から施行し、改正後の規定は、同年4月22日から適用する。

(通達第1808号)(注 事務機構第二次見直しによる部署名称等の変更に伴う改正)

附 則 (2009年度例規第21号)

この要綱は、2009年(平成21年)10月21日から施行し、改正後の規定は、同年10月

1日から適用する。

(通達第1837号)(注 国際連携機構の設置及び国際交流センターの廃止に伴う改正)

附 則(2009年度例規第27号)

この要綱は、2009年(平成21年)12月2日から施行する。

(通達第1846号)(注 副教務部長が1名から2名に増えたことに伴う改正)

附 則(2012年度例規第20号)

この要綱は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。

(通達第2142号)(注 中野キャンパスに係る部署の新設による委員の追加に伴う改正)

附 則(2012年度例規第24号)

この要綱は、2013年(平成25年)3月13日から施行する。

(通達第2164号)(注 国際教育センター委員会の廃止に伴う改正)

附 則(2018年度例規第5号)

(施行期日)

1 この要綱は、2018年(平成30年)7月4日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 改正後の第3条第4号及び第5号の規定による委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、2020年(平成32年)3月31日までとする。

(通達第2570号)(注 委員会の構成員の変更に伴う改正)

附 則(2025年度例規第13号)

(施行期日)

1 この要綱は、2025年9月18日から施行する。

(任期の特例)

2 この要綱の施行後、最初に選任される第3条第3号から第5号までの委員の任期については、第4条第1項の規定にかかわらず、1年とする。

(通達第3153号)(注 私立学校法の改正に伴い委員等の任期を役員等に対応させるための改正)

学習支援推進委員会名簿

	所 属	氏 名	役職等
委員長	政治経済学部	加藤 久和	教務部長
副委員長	文学部	濱田 祥子	副教務部長
委 員	法学部	上村 威	各学部長が推薦する教務主任
	商学部	小宮 彩加	
	政治経済学部	兼子 歩	
	文学部	生方 智子	
	理工学部	小野 弓絵	
	農学部	橋口 卓也	
	経営学部	竹内 拓史	
	情報コミュニケーション学部	鈴木 雅博	
	国際日本学部	戸田 裕美子	
	総合数理学部	吉田 明正	
	大学院	奥山 雅之	大学院長が推薦する教務主任
	専門職大学院	小松 義明	専門職大学院長が推薦する教務主任
	教務事務室	永井 順子	教務事務長
	和泉教務事務室	田島 克美	和泉教務事務長
	スポーツ振興事務室	澤邊 振一郎	スポーツ振興事務長
	中野教務事務室	松浦 昭彦	中野教務事務長



和泉学習支援コーナー 時間割

2025年度和泉学習支援室全スタッフタイムテーブル（春学期）



開 室：月～金 10:00～17:00 原則、大学の授業実施日に開室

※学習支援とは、学習活動のサポートであり、解答を教えるものではありません。

※留学相談については、国際教育センターで実施している学生留学アドバイザー制度もご利用できます。

https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/gakusei_advisor.html

※図書館1階においてもレポート指導を行っております。一覧表内「★」印をご確認ください。

曜日	所属	助手 TA	図書 館 1 F	勤務時間		共通科目							専門科目	
						言語					留学相談	レポート 作成指導		
				開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語				日本語
月	教テ	助手	★	10:00	16:00					○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成	
月	商	助手		10:00	13:00	○					○	アメリカ	○	会計学
月	商	助手		14:00	17:00						○		○	経済学
月	文	助手		10:00	16:00								○	日本中世史、進学相談
月	経営	SA		10:00	12:00				○				○	簿記論
月	経営	TA		10:00	12:00						○		○	会計学、簿記論
月	経営	TA		13:00	15:00				○			○		経営総論、経営学
月	経営	TA		15:00	17:00	○			○			豪・英	○	経営総論 会計学
月	教務	TA		10:00	16:00								○	日本史学（主に近現代史）
曜日	所属	助手 TA		勤務時間		共通科目							専門科目	
						言語					留学相談	レポート 作成指導		
				開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語				日本語
火	教テ	TA		11:00	17:00				○		○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
火	商	TA		10:00	12:00	○					○		○	中小企業論
火	商	TA		13:00	15:00	○					○		○	中小企業論
火	政経	TA		13:30	16:30								○	ミクロ経済学、マクロ経済学、経済史
火	経営	SA		13:00	15:00				○				○	簿記論
火	経営	TA		10:00	12:00				○				○	経営学
曜日	所属	助手 TA		勤務時間		共通科目							専門科目	
						言語					留学相談	レポート 作成指導		
				開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語				日本語
水	教テ	助手		10:00	16:00				○		○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
水	教テ	助手		10:00	11:00						○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
水	商	TA		10:00	12:00	○							○	マーケティング
水	商	TA		14:00	16:00				○		○	中国	○	会計学
水	商	助手		14:00	17:00				○		○		○	マーケティング
水	政経	TA	★	13:00	17:00	○							○	行政学基礎、行政理論基礎
水	文	助手		10:00	16:00								○	演劇学
水	経営	SA		10:00	12:00						○		○	簿記論
水	経営	TA		10:00	12:00	○	○						○	経営総論、経営学
水	経営	TA		13:00	17:00								○	経営総論、経営学
水	経営	TA		13:00	15:00						○	○	○	経営総論、経営学
水	経営	TA		15:00	17:00						○		○	経営総論、経営学
水	教務	TA		11:00	17:00	○			○				○	経営学、公共経営学
曜日	所属	助手 TA		勤務時間		共通科目							専門科目	
						言語					留学相談	レポート 作成指導		
				開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語				日本語
木	教テ	TA		11:00	17:00				○		○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
木	商	助手		14:00	17:00	○			○		○		○	ビジネス交渉、word、excel
木	商	助手		10:00	13:00				○		○		○	マーケティング、情報経営
木	政経	TA		13:00	17:00								○	
木	文	助手	★	11:00	17:00		○				○		○	
木	経営	SA		10:00	12:00				○				○	簿記論
木	経営	TA		10:00	12:00						○	カナダ・仏	○	経営総論、経営学
木	経営	TA		13:00	15:00						○	カナダ・仏	○	経営総論、経営学
木	経営	TA		15:00	17:00	○							○	経営総論、経営学
木	経営	TA		13:00	17:00	○					○		○	経営総論、経営学
木	教務	TA		11:00	17:00				○		○	中国		アジア史、中国史
曜日	所属	助手 TA		勤務時間		共通科目							専門科目	
						言語					留学相談	レポート 作成指導		
				開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語				日本語
金	教テ	助手		10:00	15:00						○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
金	商	助手		10:00	13:00						○		○	経済史、イギリス史
金	政経	TA	★	10:00	14:00								○	ミクロ経済学、マクロ経済学
金	経営	SA		11:00	13:00	○			○		○		○	簿記論
金	経営	TA		13:00	17:00				○				○	経営学
金	経営	TA		10:00	12:00						○	○	○	経営総論、経営学
金	教務	TA		13:00	17:00	○			○		○		○	経営学、公共経営学



2025年度和泉学習支援室全スタッフタイムテーブル（秋学期）



開 室：月～金 10:00～17:00 原則、大学の授業実施日に開室

※学習支援とは、学習活動のサポートであり、解答を教えるものではありません。

※留学相談については、国際教育センターで実施している学生留学アドバイザー制度もご利用できます。

https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/gakusei_advisor.html

※図書館1階においてもレポート指導を行っております。一覧表内「★」印をご確認ください。

曜日	所属	助手 TA	学生番号	図書館 1F	勤務時間	共通科目										専門科目
						言語								留学相談	レポート 作成指導	
						開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	日本語			
月	教デ	TA	3911242001		13:00	17:00					○		○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
月	商	助手	5211230004		10:00	13:00	○						○	アメリカ	○	会計学
月	商	助手	5211250001		14:00	17:00							○		○	経済学
月	政	TA	4322242005		10:00	12:00									○	ミクロ経済学、マクロ経済学 【※学習支援室勤務は9/22及び11/25以降のみ】
月	政	TA	4322252001		13:00	15:00										ミクロ経済学、マクロ経済学
月	文	助手	5466216101		10:00	16:00									○	日本中世史、進学相談
月	経営	SA	1740240160		10:00	12:00				○					○	簿記論
月	経営	TA	4711251001		10:00	12:00					○				○	会計学、簿記論
月	経営	TA	4711241004		15:00	17:00			○						○	経営総論、経営学
月	教務	TA	5466206103		10:00	16:00									○	日本史学（近現代史）
月	教務	TA	4411241002	★	10:00	17:00									○	日本文学（中世）
曜日	所属	助手 TA	学生番号		勤務時間	共通科目										専門科目
						言語								留学相談	レポート 作成指導	
						開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	日本語			
火	教デ	助手	3911232003	★	10:00	16:00					○	○	○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
火	政経	TA	4322242007		10:00	12:00	○								○	ミクロ経済学、マクロ経済学、経済史
火	政経	TA	5311251004		14:00	17:00	○								○	行政学基礎、行政理論基礎
火	経営	SA	1740240157		13:00	15:00					○					簿記論
火	経営	TA	4711251001		10:00	12:00				○				豪・英	○	経営総論、会計学
火	経営	TA	4711251001		13:00	15:00					○				○	会計学、簿記論
火	経営	TA	4711241012		15:00	17:00				○				○		経営総論、経営学
曜日	所属	助手 TA	学生番号		勤務時間	共通科目										専門科目
						言語								留学相談	レポート 作成指導	
						開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	日本語			
水	教デ	助手	3911231001		14:00	17:00							○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
水	教デ	TA	3911242001		11:00	13:00					○				○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
水	商	TA	4211250011		10:00	12:00	○						○		○	マーケティング
水	商	助手	5211220003		14:00	17:00							○		○	マーケティング
水	政経	TA	4322242001		10:00	12:00							○			
水	政経	TA	5322252003		15:00	17:00									○	ミクロ経済学、マクロ経済学
水	政経	TA	5311251004		16:00	17:00	○								○	行政学基礎、行政理論基礎
水	文	助手	5455215001		10:00	16:00									○	演劇学
水	経営	SA	1740240161		10:00	12:00					○					簿記論
水	経営	TA	4711241004		10:00	12:00	○	○							○	経営総論、経営学
水	経営	TA	4711251007		13:00	17:00									○	経営総論、経営学
水	教務	TA	4711231001	★	11:00	17:00	○						○			経営学、公共経営学
曜日	所属	助手 TA	学生番号		勤務時間	共通科目										専門科目
						言語								留学相談	レポート 作成指導	
						開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	日本語			
木	教デ	TA	3911242001		13:00	17:00							○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
木	商	助手	5211250002		10:00	13:00					○		○		○	マーケティング、情報経営
木	商	助手	5211220009		14:00	17:00	○						○		○	ビジネス交渉、word、excel
木	政経	TA	4311241007		10:00	15:00							○			
木	政経	TA	4322242017		15:00	17:00					○			中国		ミクロ経済学
木	文	助手	5444244002		11:00	17:00			○						○	ドイツ語、レポート作成
木	経営	SA	1740240156		10:00	12:00				○			○			簿記論
木	経営	TA	4711241010	★	10:00	12:00							○	カナダ・仏	○	経営総論、経営学
木	経営	TA	4711241010	★	13:00	15:00							○	カナダ・仏	○	経営総論、経営学
木	経営	TA	4711241001		14:00	15:30					○					経営学
木	経営	TA	4711231007		13:00	17:00	○						○		○	経営総論、経営学
木	教務	TA	4466246207		11:00	17:00					○		○	中国	○	アジア史、中国史
曜日	所属	助手 TA	学生番号		勤務時間	共通科目										専門科目
						言語								留学相談	レポート 作成指導	
						開始	終了	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	日本語			
金	教デ	助手	3911231001		14:00	17:00							○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
金	教デ	助手	3911232001	★	10:00	16:00					○		○		○	レジュメの作成、留学生の日本語レポート作成
金	商	助手	5211230003		10:00	13:00							○		○	経済史、イギリス史
金	政経	TA	4322242001		10:00	14:00					○					ミクロ経済学、マクロ経済学
金	政経	TA	4322242005		11:00	13:00									○	簿記論
金	経営	SA	1740240149		10:00	12:00							○			経営総論、経営学
金	経営	TA	4711241012		13:00	17:00					○		○			経営学、公共経営学
金	教務	TA	4711231001		11:00	17:00	○					○				経営学、公共経営学

理工学部学習支援室 時間割

ラーニングサポートスペース						
2025年度春学期時間割						
理工学部時間割 センターフォレスト4F（旧学習支援室より移動）						
科目	月	火	水	木	金	
12:30~13:20(50分)						
1 時 限	専門科目	電気電子生命 & 中国語	電気電子生命	電気電子生命	電気電子生命	
	基礎数学	基礎数学 解析	基礎数学 解析	基礎数学 代数・解析	基礎数学 解析・代数	基礎数学 解析
	基礎物理	基礎物理		基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学		基礎化学	基礎化学		
13:30~14:20(50分)						
2 時 限	専門科目	機械工学 総芸&建築 中国語(電生) 電気電子生命	機械情報 建築 情報科学 電気電子生命 機械工学	電気電子生命 機械工学	電気電子生命	電気電子生命 機械工学
	基礎数学	基礎数学	基礎数学	基礎数学 代数・解析	基礎数学 解析・代数	基礎数学 解析
	基礎物理	基礎物理		基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学		基礎化学	基礎化学		
14:30~15:20(50分)						
3 時 限	専門科目	機械工学 総芸&建築 電気電子生命	機械情報 情報科学	機械工学		電気電子生命 機械工学
	基礎数学	基礎数学 解析	基礎数学 解析	基礎数学 解析・幾何・代数	基礎数学 解析	基礎数学 解析
	基礎物理		基礎物理(理論)		基礎物理	
	基礎化学					
15:30~16:20(50分)						
4 時 限	専門科目	機械工学 機械情報 電気電子生命(中国語)	機械情報 情報科学	機械情報 機械工学	機械情報	機械情報 電気電子生命 機械工学
	基礎数学	数学 解析		基礎数学 幾何	基礎数学 代数・幾何 解析	基礎数学
	基礎物理	基礎物理	物理(理論)			基礎物理
	基礎化学			基礎化学		データ化学 基礎化学
16:30~17:20(50分)						
5 時 限	専門科目	機械工学 機械情報	機械情報 情報科学	機械情報 機械工学	機械情報	機械情報 機械工学 電気電子生命
	基礎数学			基礎数学 幾何		基礎数学
	基礎物理	基礎物理				基礎物理
	基礎化学			基礎化学		データ化学 基礎化学

ラーニングサポートスペース							2025年度秋学期時間割	
センターフォレスト4F (旧学習支援室)								
科目		月	火	水	木	金		
12:30～13:20(50分)								
1 (A) 時限	専門科目		電気電子生命		機械工学	電気電子生命		
	基礎数学	解析	代数	基礎数学	基礎数学	基礎数学		
		基礎数学	基礎数学	解析・代数	解析	解析		
	基礎物理			基礎物理				
	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学				
	農学	農学	生命科学13時開始	農業経済学	農芸化学	農業経済学		
13:30～14:20(50分)								
2 (B) 時限	専門科目	建築&総芸 機械工学 電気電子生命	電気電子生命	機械工学 情報科学 電気電子生命	電気電子生命 機械工学	建築&総芸 機械工学 電気電子生命		
	基礎数学	解析	基礎数学 代数	基礎数学 解析・代数	基礎数学 解析・幾何	基礎数学 解析・幾何		
	基礎物理	基礎物理		基礎物理		基礎物理 理論		
	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学				
	農学	農学	農学 農芸化学 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学			
14:30～15:20(50分)								
3 (C) 時限	専門科目	建築&総芸 機械工学 電気電子生命	電気電子生命 機械情報	建築 機械工学 情報科学 電気電子生命	電気電子生命 機械工学 機械情報	建築&総芸 機械工学 電気電子生命		
	基礎数学	解析	基礎数学 解析・代数	基礎数学 解析・代数	基礎数学 解析・幾何	基礎数学 解析・幾何		
	基礎物理	基礎物理		基礎物理		基礎物理 理論		
	基礎化学							
	農学	農学	農芸化学 農学・中国語・英語 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学			
15:30～16:20(50分)								
4 (D) 時限	専門科目	電気電子生命	機械情報 電気電子生命	情報科学 機械情報	電気電子生命 機械工学 機械情報	機械工学 電気電子生命		
	基礎数学	解析	基礎数学 解析・代数	基礎数学 代数	基礎数学 解析	基礎数学 幾何・代数		
	基礎物理	基礎物理	基礎物理			基礎物理		
	基礎化学					基礎化学 データサイエンス		
	農学		農芸化学 農学・中国語・英語 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学			
16:30～17:20(50分)								
5 (E) 時限	専門科目	電気電子生命	機械情報	情報科学 機械情報	電気電子生命 機械情報	機械工学		
	基礎数学					基礎数学 幾何・代数		
	基礎物理	基礎物理	基礎物理			基礎物理		
	基礎化学					基礎化学 データサイエンス		
	農学		農芸化学	農芸化学				
	プログラミング	数⇒MATLAB・latex 機械・電生⇒c、c++	機械⇒c,c++ 電生⇒c,c++ 数学⇒Latex	数⇒Python・latex 情報⇒プログラミング全般 機械系⇒C,C++	電生⇒Matlab,c,c++ 数学⇒Latex 機械系⇒c、c++	化学⇒Python 機械⇒c、c++ Matlab, 数学⇒Latex		

農学部学習支援室 時間割

ラーニングサポートスペース						
センターフォレスト4F (旧学習支援室)						
科目	月	火	水	木	金	
12:30~13:20(50分)						
1(A)時限	農学		生命科学(13時開始) 農学	農学	生命科学(13時開始) 食料環境政策	食料環境政策
13:30~14:20(50分)						
2(B)時限	農学	農芸化学	生命科学 農学	農学	農芸化学 生命科学	農芸化学
14:30~15:20(50分)						
3(C)時限	農学	農芸化学	生命科学 農学	農学	農芸化学 生命科学	農芸化学
15:30~16:20(50分)						
4(D)時限	農学	農芸化学	農学	農学	農芸化学	農芸化学
16:30~17:20(50分)						
5(E)時限	農学	農芸化学			農芸化学	農芸化学

ラーニングサポートスペース						
センターフォレスト4F (旧学習支援室)						
科目	月	火	水	木	金	
12:30~13:20(50分)						
1(A)時限	農学	農学	生命科学13時開始	農業経済学	農芸化学	農業経済学
13:30~14:20(50分)						
2(B)時限	農学	農学	農学 農芸化学 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学	
14:30~15:20(50分)						
3(C)時限	農学	農学	農芸化学 農学・中国語・英語 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学	
15:30~16:20(50分)						
4(D)時限	農学		農芸化学 農学・中国語・英語 生命科学	農芸化学	農芸化学 生命科学	
16:30~17:20(50分)						
5(E)時限	農学		農芸化学	農芸化学		

中野学習支援コーナー 時間割

学習支援コーナー時間割

2025年4月3日 ~ 2025年7月31日

学部生を対象に、大学院生TAによる学習相談・サポートを下記のとおり実施しています。
学習に困って相談したい方、学習を効果的に進めたい方は、積極的に活用してください。
・事前の申込みは不要です。以下のスケジュールを確認し、TAに直接お声がけください。
・所属学部に関わらず利用することができます。



Study Support Timetable Apr. 3, 2025 - Jul. 31, 2025

We offer drop-in tutoring in Learning Lounge.
Take advantage of the support offered to you by graduate Teaching Assistants (TAs).
・ No appointment is necessary. Please check the schedule below to determine when TAs are available for the subject in which you need assistance.
・ It is available to all undergraduates regardless the faculty.

No reservation needed!



支援内容	曜日	時間	場所
留学生向け日本語	火	13:30 - 15:10	
		9:00 - 10:40	
	水	10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
	木	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
		13:30 - 15:10	
	金	15:20 - 17:00	
		13:30 - 15:10	
英語学習	月	15:20 - 17:00	
		15:20 - 17:00	
	火	15:20 - 17:00	
留学生向け生活アドバイス	月	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
	火	10:50 - 12:30	
		9:00 - 10:40	
	水	10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
		9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
	木	15:20 - 17:00	
		11:00 - 13:00	
数学	水	13:00 - 15:00	
		11:00 - 13:00	
	金	11:00 - 13:00	
物理	木	12:30 - 14:30	
		12:30 - 14:30	
	月	12:30 - 14:30	
情報	火	11:30 - 13:30	
		13:30 - 15:30	
	金	13:00 - 15:00	
院生向け日本語論文添削	月	13:00 - 17:00	
		13:30 - 17:30	
	金	13:00 - 17:00	
外国人留学生院生向け日本語論文添削	木	10:30 - 15:30	
英会話 外国語学習法 日本語	月	11:00 - 13:00	
		11:00 - 13:00	
	水	11:00 - 13:00	
		11:00 - 13:00	
	金	11:00 - 13:00	

学習支援実施時間は変更となる場合があります。
変更は1階学生インフォメーション内の共通教務掲示板にてお知らせします。
ご不明な点は、ラーニング・ラウンジ受付または紙層棟3階事務室1番カウンターにお問い合わせください。

Subject	Day	Time	Location
Japanese Language for International Students	Tue	13:30 - 15:10	
		9:00 - 10:40	
	Wed	10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
	Thu	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
		13:30 - 15:10	
	Fri	15:20 - 17:00	
		13:30 - 15:10	
Learning English	Mon	15:20 - 17:00	
		15:20 - 17:00	
	Tue	15:20 - 17:00	
Daily Life Support for International Students	Mon	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
	Tue	10:50 - 12:30	
		9:00 - 10:40	
	Wed	10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
		9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
	Thu	15:20 - 17:00	
		11:00 - 13:00	
Math	Mon	11:00 - 13:00	
		13:00 - 15:00	
	Fri	11:00 - 13:00	
Physics	Thu	12:30 - 14:30	
		12:30 - 14:30	
	Mon	12:30 - 14:30	
ICT	Tue	11:30 - 13:30	
		13:30 - 15:30	
	Fri	13:00 - 15:00	
		13:00 - 15:00	
Japanese thesis correction for graduate students	Mon	13:00 - 17:00	
		13:30 - 17:30	
	Fri	13:00 - 17:00	
Japanese thesis correction for international graduate students	Thu	10:30 - 15:30	
		11:00 - 13:00	
	Tue	11:00 - 13:00	
Conversational English Skills; Foreign Language Learning Method; Japanese Language	Wed	11:00 - 13:00	
		11:00 - 13:00	
	Thu	11:00 - 13:00	
		11:00 - 13:00	

* If there are any updates or cancellations, we will inform you on the bulletin board on the 1st floor.
* Contact Learning Lounge (1st Floor, High-rise Wing) or Nakano Campus Office (3rd Floor, Low-rise Wing) for more information.

学習支援コーナー時間割

2025年9月22日 ~ 2026年1月31日

学部生を対象に、大学院生T Aによる学習相談・サポートを下記のとおり実施しています。
学習に際して相談したい方、学習を効果的に進めたい方は、積極的に活用してください。
・事前の申込みは不要です。以下のスケジュールを確認し、TAに直接お声がけください。
・所属学部に関わらず利用することができます。



Study Support Timetable Sep. 22, 2025 - Jan. 31, 2026

We offer drop-in tutoring in Learning Lounge.
Take advantage of the support offered to you by graduate Teaching Assistants (TAs).
・ No appointment is necessary. Please check the schedule below
to determine when TAs are available for the subject in which you need assistance.
・ It is available to all undergraduates regardless the faculty.

No reservation needed!



支援内容	曜日	時間	場所
留学生向け日本語	火	13:30 - 15:10	高層棟 1 F ラーニング・ラウンジ内 学習支援コーナー
		15:20 - 17:00	
	水	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
	木	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
	金	13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
レポート・論文指導	火	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	
英語学習	月	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	
	火	15:20 - 17:00	
留学生向け生活アドバイス	月	10:50 - 12:30 13:30 - 15:10	
	火	10:50 - 12:30	
	水	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
	木	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
	金	15:20 - 17:00	
		15:20 - 17:00	
数学	月	11:30 - 13:30	
	水	11:30 - 13:30	
	金	11:00 - 13:00	
物理	火	11:30 - 13:30	
	月	12:30 - 14:30	
	水	11:00 - 13:00	
	木	13:30 - 15:30	
	金	12:00 - 14:00	
情報	月	11:00 - 15:00	
	水	13:30 - 17:30	
	金	11:00 - 15:00	
院生向け日本語論文添削	木	10:30 - 15:30	
英会話 外国語学習法 日本語	月	11:00 - 13:00	
	火	11:00 - 13:00	
	水	11:00 - 13:00	
	木	11:00 - 13:00	

学習支援実施時間は変更となる場合があります。
変更は1階学生インフォメーション内の共通教務掲示板にてお知らせします。
ご不明な点は、ラーニング・ラウンジ受付または高層棟3階事務室1番カウンターにお問い合わせください。

Subject	Day	Time	Location
Japanese Language for International Students	Tue	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	Learning Lounge Study Support Corner (1st Floor)
		9:00 - 10:40 10:50 - 12:30	
	Wed	13:30 - 15:10	
		9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
	Thu	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
	Fri	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	
Paper Writing	Tue	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	
Learning English	Mon	13:30 - 15:10 15:20 - 17:00	
	Tue	15:20 - 17:00	
Daily Life Support for International Students	Mon	10:50 - 12:30 13:30 - 15:10	
		10:50 - 12:30	
	Tue	9:00 - 10:40	
		10:50 - 12:30	
		13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
	Wed	10:50 - 12:30 13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
	Thu	9:00 - 10:40 10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
Math	Mon	11:30 - 13:30	
	Wed	11:30 - 13:30	
	Fri	11:00 - 13:00	
Physics	Tue	11:30 - 13:30	
ICT	Mon	12:30 - 14:30	
	Wed	11:00 - 13:00	
	Thu	13:30 - 15:30	
	Fri	12:00 - 14:00	
	Mon	11:00 - 15:00	
Japanese thesis correction for graduate students	Wed	13:30 - 17:30	
Japanese thesis correction for international graduate students	Fri	11:00 - 15:00	
	Thu	10:30 - 15:30	
	Mon	11:00 - 13:00	
Conversational English Skills; Foreign Language Learning Method; Japanese Language	Tue	11:00 - 13:00	
	Wed	11:00 - 13:00	
	Thu	11:00 - 13:00	
	Thu	11:00 - 13:00	

* If there are any updates or cancellations, we will inform you on the bulletin board on the 1st floor.
* Contact Learning Lounge (1st Floor, High-rise Wing) or Nakano Campus Office (3rd Floor, Low-rise Wing) for more information.

和泉学習支援コーナー 利用状況

【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2012年度	27	95	147 (7)	205 (23)	16 (0)	69 (9)	84 (14)	83 (14)	88 (11)	814 (78)
2013年度	44 (8)	60 (8)	73 (14)	74 (17)	6 (1)	39 (3)	53 (9)	34 (9)	25 (3)	408 (72)
2014年度	44 (0)	34 (4)	62 (14)	99 (30)	6 (0)	26 (5)	29 (13)	43 (13)	37 (4)	380 (83)
2015年度	38 (0)	58 (7)	71 (28)	84 (30)	0 (0)	50 (4)	53 (11)	32 (10)	16 (6)	402 (96)
2016年度	39 (0)	38 (0)	68 (10)	63 (19)	18 (0)	20 (0)	56 (1)	46 (7)	10 (6)	358 (43)
2017年度	23 (0)	38 (0)	58 (11)	93 (12)	12 (0)	48 (2)	40 (6)	43 (5)	26 (4)	381 (40)
2018年度	15 (0)	45 (6)	68 (23)	84 (21)	4 (0)	32 (4)	29 (6)	36 (3)	51 (9)	364 (72)
2019年度	23 (0)	64 (6)	70 (11)	92 (16)	9 (0)	53 (6)	31 (8)	50 (10)	17 (1)	409 (58)
2020年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	37 (0)	10 (0)	34 (6)	20 (5)	10 (0)	13 (0)	20 (4)	6 (1)	12 (3)	162 (19)
2022年度	37 (0)	38 (0)	103 (6)	172 (2)	8 (0)	34 (0)	37 (0)	33 (6)	57 (0)	519 (14)
2023年度	22 (0)	39 (4)	99 (9)	311 (11)	16 (0)	37 (1)	23 (0)	59 (1)	140 (0)	746 (26)
2024年度	5 (0)	5 (2)	2 (2)	319 (0)	9 (0)	52 (0)	33 (0)	67 (0)	132 (0)	624 (4)
2025年度	5 (0)	53 (2)	152 (4)	243 (1)	10 (0)	27 (2)	43 (3)	53 (2)	160 (5)	746 (19)

※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により閉室

【2】学部別利用者数

学部名	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
法学部		48 (0)	147 (0)	241 (0)	9 (0)	19 (1)	40 (2)	50 (0)	155 (3)	709 (6)
商学部										0 (0)
政治経済学部										0 (0)
文学部			3 (2)	2 (1)		4 (0)		2 (1)	3 (0)	14 (4)
経営学部						1 (0)			1 (1)	2 (1)
情報コミュニケーション学部										0 (0)
院生						3 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	8 (4)
その他	5 (0)	5 (2)	2 (2)		1 (0)					13 (4)
計	5 (0)	53 (2)	152 (4)	243 (1)	10 (0)	27 (2)	43 (3)	53 (2)	160 (5)	746 (19)

※年度当初は相談者の学部を不同としたため、確認ができない場合は「その他」として計上した。

【3】学年別利用者数

学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1年		19 (0)	62 (0)	96 (0)	1 (0)	9 (0)	19 (0)	18 (0)	61 (1)	285 (1)
2年		25 (0)	79 (0)	140 (0)	7 (0)	10 (0)	12 (0)	28 (0)	64 (0)	365 (0)
3年		4 (0)	8 (1)	5 (1)	1 (0)	5 (1)	6 (2)	4 (0)	29 (3)	62 (8)
4年		0	0	2 (0)	0	0	2	2 (1)	5 (0)	11 (1)
院生			1 (1)		0	3 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	9 (5)
その他	5 (0)	5 (2)	2 (2)		1 (0)	0	1 (0)	0	0	14 (4)
計	5 (0)	53 (2)	152 (4)	243 (1)	10 (0)	27 (2)	43 (3)	53 (2)	160 (5)	746 (19)

※年度当初は相談者の学年を不同としたため、確認ができない場合は「その他」として計上した。

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

理工学部学習支援室 利用状況

【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2019年度	78	145	123	351	14	75	73	37	156	1052
2020年度	0	20	40	67	14	57	55	35	97	385
2021年度	123	89	113	149	18	107	123	96	124	942
2022年度	112	158	180	228	49	116	111	115	125	1194
2023年度	119	176	214	368	34	182	136	113	273	1615
2024年度	151	223	272	346	38	145	142	97	316	1730
2025年度	154	217	253	420	30	125	121	92	168	1580

【2】学科別利用者数

学部名	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
電生	47	72	44	121	5	34	37	25	48	433
機械	6	14	12	24	9	9	0	0	5	79
機情	47	57	100	164	8	34	31	21	66	528
建築	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
応化	16	35	18	18	1	19	6	13	4	130
情報	6	8	0	0	0	0	0	2	0	16
数学	27	24	55	78	7	24	22	23	28	288
物理	3	7	21	12	0	2	9	3	13	70
院生・その他	0	0	3	3	0	3	16	5	4	34
計	154	217	253	420	30	125	121	92	168	1580

【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1年	83	87	130	166	11	32	15	16	52	592
2年	25	62	41	103	7	52	66	21	89	466
3年	34	16	17	87	2	22	13	23	8	222
4年	8	48	64	61	10	19	11	29	6	256
院生・その他	4	4	1	3	0	0	16	3	13	44
計	154	217	253	420	30	125	121	92	168	1580

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

農学部学習支援室 利用状況

【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
2020年度	0	3	20	13	1	0	0	0	3	40
2021年度	12	3	13	16	5	22	37	25	13	146
2022年度	23	13	18	34	6	15	16	7	14	146
2023年度	9	13	13	21	5	14	19	16	7	117
2024年度	20	18	24	24	8	18	16	12	16	156
2025年度	30	22	27	16	0	4	28	8	3	138

【2】学科別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
農学科	3	2	0	3	0	2	0	1	0	11
農芸化学科	16	19	24	13	0	2	26	5	3	108
生命科学科	0	1	2	0	0	0	0	2	0	5
食料環境政策学科	11	0	1	0	0	0	2	0	0	14
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	22	27	16	0	4	28	8	3	138

【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1年	16	15	16	15	0	4	28	4	3	101
2年	12	5	7	0	0	0	0	4	0	28
3年	2	0	4	0	0	0	0	0	0	6
4年	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
不明・その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
計	30	22	27	16	0	4	28	8	3	138

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

中野学習支援コーナー 利用状況

【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2020年度	0	2	11	38	1	0	29	16	19	18	134
2021年度	14	16	27	18	0	6	11	16	9	15	132
2022年度	15	19	25	21		5	29	27	9	14	164
2023年度	13	39	30	51		7	24	23	37	21	245
2024年度	56	41	38	34		24	65	30	38	12	338
2025年度	17	22	13	20		4	24	9	3	7	119

【2】学部別利用者数

学部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
国際日本学部	5	4	7	7		1	20	4	3	4	55
総合数理学部	12	16	6	10		3	4	5	0	3	59
院生・その他	0	2	0	3		0	0	0	0	0	5
計	17	22	13	20	0	4	24	9	3	7	119

【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1年	8	16	3	10		2	4	8	0	2	53
2年	4	2	2	2		0	8	1	2	1	22
3年	3	2	0	3		0	8	0	1	1	18
4年	2	0	6	2		2	4	0	0	3	19
院生・その他	0	2	2	3		0	0	0	0	0	7
計	17	22	13	20	0	4	24	9	3	7	119

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

2025年度学習支援報告書

編集・発行

明治大学教務事務部

発行日

2026年7月